

- 実施主体 熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科
- 実施場所 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎及び小柏演習林
- 実施期間 平成31年4月～令和2年3月



### <背景・ねらい>

本科は前身の阿蘇農業高校、阿蘇清峰高校の頃より小柏演習林周辺の輪地切り、輪地焼き、野焼きを授業の一環として実施し、演習林および草地の維持管理に取り組んできた。平成22年度より学科名称を変更し、林業や草原維持を通して地域環境を守る人材育成を目指している。

本活動で生徒たちは阿蘇の草原の成り立ちや農林業との関係などについて学習する。また、近年の草原面積減少やそれから派生する地域課題を生徒たちが主体的に解決し、地域に貢献することを目的としている。

### ■実施概要

#### ①輪地切り、輪地焼きの実施（小柏演習林、立山牧野）

- ・グリーン環境科2、3年生が授業内で実施した。隣接地もボランティアで防火帯作りを実施した。

#### ②火消し棒づくり

- ・野焼きに初めて参加する1年生を対象に火消し棒製作を行った。初めて経験する生徒ばかりで興味を持って作業に当たり、マイ火消し棒を製作した。製作した火消し棒を使用して野焼き実習に取り組んだ。

#### ③野焼き（小柏演習林、立山牧野）

- ・立山牧野組合と協力して1、2年生が参加して野焼き実習を行った。

#### ④放棄地の再生・植生調査（竜神牧野内）

- ・竜神牧野内の放棄地にて4年目の再生活動及び植物調査を実施した。環境省や専門家に指導していただき、データを取ることができた。

#### ⑤草原再生募金活動の実施

- ・本校文化祭で募金活動を行った。

#### ⑥茅葺き技術の学習

- ・再生地のススキを利用して、校内に茅葺き屋根の製作を行った。
- ・草原再生募金補助を利用し、阿蘇茅葺き工房に指導していただいた。



### ■実施体制

- ・主体：阿蘇中央高校グリーン環境科生徒約40名
- ・連携・協力：環境省阿蘇自然環境事務所、阿蘇草原再生募金事務局、竜神牧野、立山牧野、本校農業食品科

### ■成 果

- ・今年もグリーン環境科の全生徒が参加し、様々な活動を展開することができた。
- ・毎年生徒数は減少しており、生徒一人一人の負担は大きいですが、草原の役割を理解し、地域のためにと頑張ってくれたため毎年継続した活動が可能となっている。高齢で作業できないお宅の防火帯作りなど地域貢献もすることができた。
- ・水の国フォーラムに参加し、本校の活動の状況を報告した。今後も地域の生徒達が草原の担い手となるような活動を実施していきたい。

### ■実施者の感想

- ・草原維持活動や火消し棒の製作は今後も継続して取り組んでいきたい。
- ・昨年度まで続けてきた草原調査についても継続して続けていきたい。
- ・今後も地域の高校として草原再生、環境、農業を守る活動を継続していきたいと考えている。